

# 六甲山地の災害対策事例を紹介

～JICA「防災意識の啓発コース」研修～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

独立行政法人 国際協力機構 (JICA) が行っている研修の一環として、ベトナム国の防災関係者が六甲砂防事務所に来訪されました。

六甲山地での過去の土砂災害と砂防事業の取り組みなどの説明を行い、斜面对策などを見学していただきました。

## 概要

日時：平成26年7月8日(火)

10:00～16:00

場所：六甲砂防事務所、焼ヶ原地区

斜面对策(住吉川上流)など

主催：JICA 参加人数：13名



六甲山地の砂防事業について説明

## ○六甲山地での砂防事業の必要性を説明

六甲山地では、明治時代より砂防事業を始めています。平成7年(兵庫県南部地震)に土砂災害が発生してから、近年大規模な土砂災害は起きていませんが、小規模なものは毎年起きています。今後も砂防えん堤の整備や斜面对策を行う必要があることを説明した後、砂防施設を案内しました。



焼ヶ原地区斜面对策

焼ヶ原地区では、住宅近くの斜面对策について、山に近い家だけを守っているのではなく、大雨によって斜面が崩れ、土石流となり下流の街に被害を与えないように対策したことを説明しました。

渦ヶ森地区では、斜面对策を行う際に、出来るだけ樹木を残すように取り組んでいることを説明しました。また、渦ヶ森小学校の児童がど



渦ヶ森小学校植樹地

んぐりの苗を植樹した植樹地を案内し、土砂災害が起こりにくい広葉樹の森を目指して取り組んでいることを説明しました。

## 【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15

TEL : 078-851-0535



んぐりの苗を植樹した植樹地を案内し、土砂災害が起こりにくい広葉樹の森を目指して取り組んでいることを説明しました。